

# イエス・キリストの死の意味

1) イエスが受けた裁判を描く聖書の箇所を読んでください。(ルカ 23,13-25)

☞ 「ピラトは、祭司長たちと議員たちと民衆とを呼び集めて、言った。「あなたたちは、この男を民衆を惑わす者としてわたしのところに連れて来た。わたしはあなたたちの前で取り調べたが、訴えているような犯罪はこの男には何も見つからなかった。ヘロデとても同じであった。それで、我々のもとに送り返してきたのだが、この男は死刑に当たるようなことは何もしていない。だから、鞭で懲らしめて釈放しよう。」しかし、人々は一斉に、「その男を殺せ。バラバを釈放しろ」と叫んだ。このバラバは、都に起こった暴動と殺人のかどで投獄されていたのである。ピラトはイエスを釈放しようと思って、改めて呼びかけた。しかし人々は、「十字架につけろ、十字架につけろ」と叫び続けた。ピラトは三度目に言った。「いったい、どんな悪事を働いたと言うのか。この男には死刑に当たる犯罪は何も見つからなかった。だから、鞭で懲らしめて釈放しよう。」ところが人々は、イエスを十字架につけるようにあくまでも大声で要求し続けた。その声はますます強くなった。そこで、ピラトは彼らの要求をいれる決定を下した。そして、暴動と殺人のかどで投獄されていたバラバを要求どおりに釈放し、イエスの方は彼らに引き渡して、好きなようにさせた。」ルカ 23:13-25

ルキウス・アエリウス・セイヤヌス (Lucius Aelius Seianus, 紀元前 20 年 – 紀元後 31 年 10 月 18 日) は、古代ローマの親衛隊長官。単にセイヤヌス、またはセイアヌス、セヤヌスとも表記される。第 2 代ローマ皇帝ティベリウスの友情を獲得し、権勢を誇ったが、ティベリウスがカプリ島に隠遁した後(紀元後 26 年)、代理として元老院を牛耳り、また皇帝一族との婚姻、対立分子の排除を図ろうとする。これが皇帝権力の脅威と見られ、ティベリウスの姦計に陥り処刑された。

- a. イエスは、死刑に当たるような悪事を行いましたか。 .....
- b. イエスが下された死刑の判決は、正義でしたか。 .....

2) この不正な裁判と判決は、神の望みに適うものや神の計画であったのでしょうか。

☞ 「わたしたちが語るのは、隠されていた、神秘としての神の知恵であり、神がわたしたちに栄光を与えるために、世界の始まる前から定めておられたものです。この世の支配者たちはだれ一人、この知恵を理解しませんでした。もし理解していたら、栄光の主を十字架につけはしなかったでしょう。」 1 コリ 2:7-8

3) 神は人間から、御独り子に対してどんな態度を求めておられたのでしょうか。

☞ 「まだ一人、愛する息子がいた。『わたしの息子なら敬ってくれるだろう』と言って、最後に息子を送った。」 マコ 12:6

「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。」 ヨハ 1:9-12

「これまでに行われた最大の道徳的な悪は、神の御子を排斥し殺害したことです。これはあらゆる人間の罪が原因ですが、神は満ち溢れる恵みによって、そこから最大の善であるキリストの栄光とわたしたちのあがないを引き出されました。とはいえ、悪が善になるわけではありません。」

(カトリック教会のカテキズム 312)

4) イエスの使命の目的はどのようなものであったのでしょうか。(ヨハ 18,37 ; ヨハ 17,26)

📖 「そこでピラトが、「それでは、やはり王なのか」と言うと、イエスはお答えになった。「わたしが王だとは、あなたが言っていることです。わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く。」 ヨハ 18:37

「わたしは御名を彼らに知らせました。また、これからも知らせます。わたしに対するあなたの愛が彼らの内にあり、わたしも彼らの内になるようになります。」 ヨハ 17:26

.....

5) 十字架に付けられたイエスは、何をなさいましたか。

a. お母さんのマリアと弟子ヨハネに対して (ヨハ 19,26-27)

📖 「イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。」 ヨハ 19:26-27

.....

b. 兵士たちに対して

📖 「そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのかわからないのです。」人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。」 ルカ 23:34

.....

c. 回心した犯罪人に対して

📖 「我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」そして、「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」と言った。するとイエスは、「はっきり言うておくと、あなたは今日わたしと一緒に樂園に入る」と言われた。」 ルカ 23:41-43

.....

d. 神に対して (ルカ 23,46; 1ペト 2,23)

📖 「三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。」 マコ 15:34

「イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。ルカ 23:46

「ののしられてものしり返さず、苦しめられても人を脅さず、正しくお裁きになる方にお任せになりました。」 1ペト 2:23

.....

e. 非常に大きな苦しみの中にあっても、なぜイエスは、他人について考え、彼らに対して善を行うことができたと思いますか。

.....

f. 神に見捨てられているように感じても、どうしてイエスは、神を信頼し続け、神にご自分の命を委ねることができたと思いますか。

.....

イエスは、多くの苦しみを受けたからではなく、  
大きな苦しみの中にも、神と人を愛し続けたからこそ、  
神から与えられた使命を完全に成し遂げられたのです。

6) イエスは、十字架にどんな力があると信じたのでしょうか。(ヨハ 12,32; ヨハ 8:28-29)

☞ 「わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。」ヨハ 12:32

「そこで、イエスは言われた。「あなたたちは、人の子を上げたときに初めて、『わたしはある』ということ、また、わたしが、自分勝手には何もせず、ただ、父に教えられたとおりに話していることが分かるだろう。わたしをお遣わしになった方は、わたしと共にいてくださる。わたしをひとりにしてはおかれない。わたしは、いつもこの方の御心に適うことを行うからである。」ヨハ 8:28-29

.....

7) ペトロは、イエスの苦しみにおいて、どんな可能性を見出したのでしょうか。(1ペト 3,18)

☞ 「キリストも、罪のためにただ一度苦しみました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。」1ペト 3:18

.....

十字架上からイエスは、酷くて醜い苦しみによってではなく、  
それだけ大きな苦しみをもたらす罪を犯した人々に対しても  
この罪よりも強くて、変わることはないほど偉大な愛によって、  
人を神のもとへ引き寄せています。

8) ご自分の言葉と活動、特に受難と死によってイエスは、神についてどんな真理を表していますか。

☞ 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。」ヨハ 3:16-17

.....

☞ 「つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。」2コリ 5:19

.....

☞ 「わたしたちは主キリストに結ばれており、キリストに対する信仰により、確信をもって、大胆に神に近づくことができます。」エフェ 3:12

.....

9) 最後の晩餐の時イエスは、ご自分の受難と死の結果について語っています。それによると、イエスの死によって、何が成し遂げられました。

☞ 「食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。」ルカ 22:20

.....

10) 新しい契約において、神は私たちに何を約束してくださいましたか。

☞ 『それらの日の後、わたしが／彼らと結ぶ契約はこれである』と、／主は言われる。『わたしの律法を彼らの心に置き、／彼らの思いにそれを書きつけよう。もはや彼らの罪と不法を思い出しはしない。』罪と不法の赦しがある以上、罪を贖うための供え物は、もはや必要ではありません。」ヘブ 10:16-18

.....

☞ 「あなたがたは、わたしを愛しているならば、わたしの掟を守る。 わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてください。この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、受け入れることができない。しかし、あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたと共におり、これからも、あなたがたの内にいるからである。」 ヨハ 14:15-17

.....

☞ 「しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子となさるためでした。あなたがたが子であることは、神が、「アッバ、父よ」と叫ぶ御子の霊を、わたしたちの心に送ってくださった事実から分かります。 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人でもあるのです。」 ガラ 4:4-7

.....

☞ 「神は約束されたものを受け継ぐ人々に、御自分の計画が変わらないものであることを、いつそうはつきり示したいと考え、それを誓いによって保証なさったのです。」 ヘブ 6:17

.....

11) 1ペト 2,21-25 を読んで、以下の質問に答えてください。

☞ 「あなたがたが召されたのはこのためです。というのは、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。 「この方は、罪を犯したことがなく、／その口には偽りがなかった。」 ののしられてもののしり返さず、苦しめられても人を脅さず、正しくお裁きになる方にお任せになりました。そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きるようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました。 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、魂の牧者であり、監督者である方のところへ戻って来たのです。」 1ペト 2:21-25

a. 以上の黙想に基づいてこの言葉をどのように理解していますか。

.....

.....

b. 十字架上のイエスは、あなたに、何を呼びかけていると思いますか。

.....

.....

c. この呼びかけにはどのように応えたいですか。

.....

.....

「それでまた、この方は常に生きていて、人々のために執り成しておられるので、御自分を通して神に近づく人たちを、完全に救うことができになります。」

ヘブ 7:25